

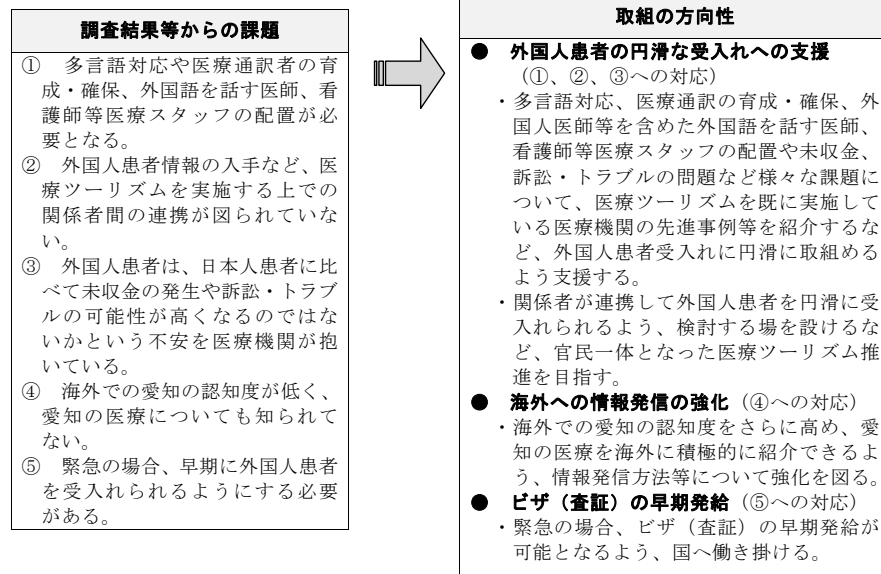
医療ツーリズム推進に向けた提言（案）の概要について

1 医療ツーリズム推進の意義

愛知県が実施した「訪日外国人向け調査」の結果によれば、日本の医療は海外からの関心が高く、日本が国際的優位性を有する医療分野において、医療機関の受入余力を活用し、地域医療に影響を及ぼさない範囲において、外国人患者への先進的な医療の提供や最先端の医療機器等による検診の実施など、愛知の優れた医療技術の提供による医療の国際化の推進を図ることが期待される。

2 医療ツーリズム推進に向けた課題

愛知県が実施した県内全病院を対象とした「医療機関向け調査」の結果によれば、医療ツーリズムを推進する上での課題としては、院内表示などの多言語対応や、医療通訳の確保、外国語のできる医療スタッフの配置など、外国人患者の受入れに当たっての医療機関の負担が大きいことや、未収金や訴訟・トラブル、あるいは外国人患者を医療機関に呼び込む方法がよくわからないといった不安などが挙げられる。



3 官民一体となった取組の重要性

医療ツーリズム推進に関する取組は、官民の役割を明確にし、一体となって進めていくことが重要である。

〈主な官の役割〉

- 関係団体等とのネットワークの拡充
- 医療ツーリズムに係る人材育成
- 国家戦略特区による規制緩和を活用した、外国人患者を受入れやすくするための環境整備

〈主な民の役割〉

- 院内表示を多言語化するなど受入体制の整備
- 海外への情報発信
- 医療ツーリズムに係る人材確保
- 医療機関同士の連携

4 医療ツーリズム推進に向けた方策

(1) あいち医療ツーリズム協議会（仮称）の設置

医療ツーリズム推進の具体的取組を県内の医療関係者等で協議し、関係者間の連携を図るため、「あいち医療ツーリズム協議会（仮称）」を設置する。

(2) 関係機関と官民一体となった医療ツーリズムの推進

関係団体と連携を図り、官民一体となって医療ツーリズム実施医療機関を支援する。

(3) 先進事例の情報提供など県内医療機関への医療ツーリズム推進に向けた取組の支援

課題の解決策や具体的な取組について、先進事例を発表するシンポジウムを開催するなど、医療機関の外国人患者受入れが円滑になるよう支援する。

(4) 海外への愛知の医療ツーリズムに関する情報発信の強化

認知度を高めるため、医療機関のホームページに多言語での専用サイトの作成や、海外の関係者に愛知の医療を紹介するなどの取組を実施する。

(5) 国際医療コーディネーターの活用による円滑な医療ツーリズムの実施

外国人患者を円滑に受入れるため、国際医療コーディネーターを育成・確保し、その活用を図る。

(6) 国家戦略特区による規制緩和の活用

医療ツーリズムの妨げとなる規制を緩和し、医療ツーリズム推進の環境を整える。